

協 議 会 議 事 要 点 録

会議名	令和3年度 第2回江田島市交流定住促進協議会			
日 時	令和4年3月23日(水) 14時00分～15時30分			
場 所	能美市民センター1階大会議室			
出席者	江田島市商工会会長	会長【議長】	ひらた けいじ 平田 圭司	○
	江田島市自治会連合会会長	副会長	こせき たかひろ 小跡 孝廣 代理 はまたに かずま 濱谷 一真	○
	江田島市女性会連合会会長	監査	うね たみこ 宇根 民子	○
	江田島市商工会青年部部長		できがい ひでお 出木谷 秀雄	○
	江田島市社会福祉協議会事務局次長		ふじい しん 藤井 伸	○
	J A 呉江能営農経済センター長		しらもも まこと 白桃 誠	○
	江田島野菜出荷組合組合長		やまだ たかみ 山田 隆見	欠席
	江田島市漁業振興協議会		ひぐち もとむ 樋口 元武	○
	江田島市不動産連合会会長		こばたけ みつお 小島 光雄	○
	体験民宿 NORA オーナー		わせだ けい 早稲田 圭	○
	江田島市企画部長		おくだ しゅうぞう 奥田 修三	○
一般社団法人フウド代表理事		ごとう しゅん 後藤 峻	○	
1 開 会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会 長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>江田島市交流定住促進協議会 会長の平田でございます。</p> <p>本日は御多用の中、令和3年度第2回 江田島市交流定住促進協議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本協議会は、市内への交流人口の拡大を図るために設置され、委員の皆様の御意見をいただきながら、定住促進の施策に取り組んでまいりました。</p> <p>昨年度は、市の移住・定住ポータルサイト「hodohodo(ほどほど)」も開設し、空き家バンクの物件も VR(仮想現実)で内覧できるようになりました。その結果、令和3年度の成約件数は、今日現在31件と過去最高値を達成する見込みです。</p> <p>また、令和2年国勢調査による本市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所</p>			

	<p>が推計した値よりも上振れしており、人口減少が予測よりも少しゆるやかになっています。</p> <p>このように少しずつではありますが、本協議会の活動を始めとする移住・定住施策の成果が数値として表れてきております。</p> <p>本日は、協議会事業や移住・定住施策について、各分野で活躍されている委員の皆様へ、率直な御意見や思いなどをいただきまして、今後の事業につなげていきたいと考えております。</p> <p>最後になりますが、この協議会の活動が移住・定住促進のみならず、地域活性化の一翼を担うことを願ひまして、あいさつとさせていただきます。</p>
3 議 題	
(1) 報告事項	
<p>ア 江田島市交流定住促進事業について (資料 1)</p> <p>イ 令和 4 年度江田島市当初予算について (資料 2)</p> <p>ウ 監査委員の委嘱について (資料 3)</p>	
議 長	<p>それでは、議題 (1) 報告事項に入ります。</p> <p>ア「江田島市交流定住促進事業について」及びイ「令和 4 年度江田島市当初予算について」、並びにウ「監査委員の委嘱について」を事務局より、それぞれ報告をお願いします。</p>
事務局	ー資料 1, 資料 2 及び資料 3 により説明ー
議 長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。
小島委員	先ほどの説明の中で、移住・定住サイトの閲覧数が飲食店等の問合せ件数の基準でいう 100 分の 1 で換算すると月 540 件に相当するとの説明がありましたが、実際の空き家バンクへの問合せ件数は何件ですか。
事務局	後ほど御報告しますフウド事業について、空き家バンクへの問合せ件数そのものではないですが、移住相談件数約 130 件に含まれていると考えています。
小島委員	月平均が 130 件ですか。
事務局	いいえ、年間で約 130 件です。
小島委員	わかりました。月 540 件という数字が独り歩きしている気がしたので確認しました。
事務局	月 540 件というのは、サイトの閲覧件数としての目安です。実際の成約件数としては、先ほど御報告しましたように 31 件で、これまでの空き家バンク事業の中で最高値となる予定です。サイトを開設して、広く空き家バンク物件を見ていただいたということが、この実績に結び付いた一つの要因と考えています。
後藤委員	資料 1 の移住者数のカウント方法について、説明をお願いします。
事務局	資料 1 の「1 移住者数について」の①から③は、移住者数のカウント方法について説明しています。まず、①の定住促進補助金 (新築物件購入補助) の補助対象者数というのは、「3 定住促進事業補助金」に記載されています件数をカウントしています。

	<p>次に②空き家購入補助金の補助対象者のうち、市外からの転入者数というのは、都市整備課が担当している補助金メニューでして、その利用者のうち市外からの転入者分をカウントしています。</p> <p>最後に③空き家バンク利用登録者のうち、移住により利用登録を外した人数ですが、本市の空き家バンクを利用する場合には、事前に利用登録をしていただきます。その上で、空き家物件の地番や仲介不動産業者さんを紹介する流れとなっています。成約すると、その登録は必要なくなりますので、登録を外していただくという作業があります。その際に判明した人数を移住者としてカウントします。この3つの積み上げが今年度でいうと17世帯33人になる予定です。</p>
後藤委員	<p>この①②③で把握できている人数がこの数字で、実際には把握しきれていない移住者も一定数いると思います。どうやって集計できるかというのは簡単ではないと思いますが、できればどのくらいの人が転入しているかという実態を何かしらの方法で推計できたらと思いました。</p>
事務局	<p>移住者数の推計というのはどの市町も悩んでいるところで、単純に江田島市の転入者数は1年間1,400人規模ですが、自衛隊や単に転勤で来た人も含むので、移住者数ととらえるのは難しいです。広島県内のどの市町もカウントの仕方はバラバラで、どれがベストか確立できていない中で、江田島市としては市の移住施策を使って来られた方を移住者数としてカウントしています。今後もっといい手法が見つけられるようであれば、取り組んでみたいと思っています。</p>
議長	<p>今の話はこの協議会でもよく出てくる話で、なかなか移住者のカウントがしづらいということですね。仕事の関係などで引っ越しされて来る人などは、各種補助金を利用されない方は多数いらっしゃる。仕事があつて、こちらに来られる方は非常に良い傾向だと思います。数値化は難しいということですが、何とか実態把握ができればと思います。</p> <p>ほかに質疑はございますか。</p> <p>ないようですので、報告事項を終了します。</p>
(2) 議案	
ア 令和3年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて(資料4-1, 4-2)	
議長	<p>続きまして、議案審議に移ります。</p> <p>議案ア「令和3年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ー資料3-2により説明ー</p>
議長	<p>ただいま事務局から説明がありました。質疑はございますか。</p> <p>それでは、私の方からこのフード事業について、後藤さんを始め本当に皆さんが頑張っていて着実に成果が出ているという状況と、また今のコロナにより全国的に感染防止措置を取らざるをえなかったという状況ですが、リスク管理といった観点からも地方に住んだ方が安全だという話もあり、正しい言い方かわかりませんが、ピンチをチャンスに変えるという意味では、今後もこういった傾向は一定程度続いていくと思われるので、ぜひフード事業についても着実に成果</p>

	を出していただけるのではないかと考えています。 その他質疑はございますか。
各委員	(質疑なし)
議長	お諮りします。 議案ア「令和3年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」に賛成される方は、挙手をお願いします。
各委員	(委員 挙手)
議長	賛成多数です。 よって、議案ア「令和3年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」は、可決されました。
イ 令和4年度江田島市交流定住促進協議会事業計画(案)及び収支予算(案)について(資料5-1, 5-2)	
議長	続いて、議案イ「令和4年度江田島市交流定住促進協議会事業計画(案)及び収支予算(案)について」を議題とします。 事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料5-1, 5-2により説明－
議長	ただいま、事務局から説明がありましたが、これについて質疑はございますか。
奥田委員	新年度の新しい事業として、広域連携とあって、呉市を中心とした周辺市町が取り組む婚活イベントを行うということで、新たに25万円の予算計上をしています。婚活イベントそのものに行政がどこまで関わるかというところもありますが、結婚して江田島に住んでいただくのが結果としては、一番いい形だろうと思うんですが、そうなるように、このイベントが最終的に定住・交流に結びつく形で着地するような方向で、広域連携の中で事業の進め方を調整していただきたいと思います。よろしくをお願いします。
濱谷委員	今の婚活イベントの延長線上になると思いますが、婚活イベントで結婚まで至り、江田島市に住むことになった場合、他地域では報奨金のように100万円、200万円出したり、子供が生まれればまたお金を出したりということをしていいますが、江田島市は財政的に非常に厳しい状況だとは思いますが、その延長線上のところは検討はされていますか。
事務局	結論から言うと、そういうことはあまり想定していません。なかなか微妙なところがあって、給付金があれば助かる人も確かにいますが、それ目当ての人も来てしまうので。江田島市は人口減少で苦しんでいますが、誰でもいいから来てください、というよりは、ちゃんと江田島市が好きで思いを持っている方に来てもらいたいので、給付金は今のところは考えていません。
濱谷委員	現状としては検討していないということですね。今後、市全体のこととして考えていかないといけないですね。
議長	婚活事業に関しては、以前、複数年度社協さんと商工会と合同で開催させていただいたことがありますが、実績も上がっていると思いますが、取組としては、市民の皆さんに目に見える形になると思いますので、他地域と連携しながら進め

	<p>ていただければと思います。</p> <p>その他質疑はございますか。</p>
各委員	(質疑なし)
議長	<p>お諮りします。</p> <p>議案イ「令和4年度江田島市交流定住促進協議会事業計画(案)及び収支予算(案)」に賛成の方は、挙手をお願いします。</p>
各委員	(委員 挙手)
議長	<p>賛成多数です。</p> <p>よって、議案イ「江田島市交流定住促進協議会事業計画(案)及び収支予算(案)」は、可決されました。</p>
4 役員改選について(資料6)	
議長	<p>続きまして、次第の「4 役員改選」についてです。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	—資料6により説明—
議長	<p>はい。ただいま、事務局から説明がありましたとおり、運営要綱の規定により「会長は、委員の互選により選出する」ということでございます。委員の方からの御意見を頂戴したいと思います。</p>
奥田委員	<p>事務局案は、ありますでしょうか。</p>
議長	<p>ただいま、奥田委員より、事務局案について意見がございましたが、事務局として意見はありますでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。事務局案としましては、現会長の平田会長に引き続きお願いしたいと考えております。</p>
議長	<p>ただいま、事務局より、当協議会の会長は、私に、という意見がございましたが、いかがでしょうか。</p>
各委員	(異議なし)
議長	<p>委員の皆様、異議なしということでございましたので、それでは、引き続きになります。会長の職を務めさせていただきたいと思っております。</p> <p>皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
議長	<p>以上で、本日予定されていた議案の審議は全て終わりました。</p>
意見交換	
議長	<p>ここで、私から一つ委員の皆様に御提案があります。</p> <p>今回から新たな委員さんでこの協議会をスタートするに当たり、各委員さんから所属されている団体で取り組まれている移住・定住に関する施策、または移住・定住に対する御意見などありましたら、この場で意見交換したいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>では、私から口火を切らせていただきたいと思います。</p> <p>移住・定住というのはどこの市町にとっても非常に大きなテーマで、私は県内の方と色々な協議などをさせていただいておりますが、人口減少や移住への</p>

	<p>取組というのは意見交換でよく出るテーマです。そうした中で、江田島市は非常によく目立っているね、よくやっているねとの声をたくさんいただきます。先ほど御紹介いただいたメディアへの取り上げについても、この間 NHK - BS の番組を見ましたが、非常によく伝わっているなということもありまして、事業者が移住してきているというのは、なかなかないことだよ、と非常に評価が高いです。</p> <p>また、メディア露出が非常に多いというのも江田島市の特徴でして、他の地域もやってらっしゃると思いますが、江田島市ほどにはなっていないかなというところもあります。江田島市民の方にも、江田島市の移住・定住促進事業というのがしっかり行われているということをお伝えするのも本協議会の目的の一つだと考えています。今日も資料がたくさんありましたが、外に発信すると同時に中にも発信して、こういった事業に市を挙げて取り組んでいますということをお伝えしていきたいと思っています。</p> <p>アフターコロナで今後の生活様式が変わっていく中、また、広島県も移住先として全国トップクラスにありますし、江田島市は大都市に近く地の利も非常に良く、条件的にはいいですので、積極的に頑張っていければと思っています。</p> <p>商工会として宣伝させていただくと、資料の「江田島移住のはじめ方」の中で、「働くという選択肢」のページで「事業チャレンジ応援支援制度」というものを作っています。我々商工会では、毎年創業塾を開催しており、大変多くの方に受講いただいています。定員を超えてご遠慮いただく形になるくらい盛況です。その中で数多くの方が創業していただいて、江田島市内に住んでいただいています。ということで、非常に成果が出ていますし、江田島市で起業したいと考えていただいている、他地域との差別化ができる事業として非常に有用だと思います。創業塾は非常に厳しい塾でして、本気で事業計画ができて創業できる方を支援していくもので、着実に成果も出てきています。もっともっと積極的に展開していきたいと考えています。</p>
出木谷委員	<p>江田島市商工会青年部部長の視点から少しお話させていただきますと、今人口自体が減少しているの、青年部の部員自体も人が減っています。年齢制限が45歳ということで、団塊ジュニアの方の離脱も既に始まっています。私も含め私世代が卒業すると、あと10人という悲惨な状況が予測されていたんですが、最近市外の方からいろんな業種の方が江田島市内に住まれて、私たちもアプローチをかけて、新入部員になっていただいた方も何人かいらっしゃいます。今まで江田島ですと事業をやられている方と移住されて、これから江田島市内でビジネスをされる方、この二つの融合がこれからの課題、私の仕事ではないかと思っています。一度絶望しかけたんですが、今希望が見えているといった状況です。</p> <p>卒業する前にその融合を済ませてから45歳を迎えたいと思っています。また、その状況についてはこの場で御報告させてもらえたらと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
奥田委員	<p>今のお話の続きになると思いますが、私どもの企画部では、移住・定住を含め、企業誘致、IT企業を江田島市に呼び込むといった事業も行っています。そうした中、こちらの別館にもIT企業に入ってくださいました。全国的にそういった流れが加速して、ここ3年の間に進めてきました。というのも、一瞬のうちに過熱したというところがあって、時代を振り返ってみると今はもうオフィス回</p>

	<p>帰とって、地方移転からオフィスに帰ってきなさいという時代に移ってきています。これだけ時代の流れが早いので、今来ていただいている企業の方に引き続き江田島市で発展していただくためにも、出木谷委員が言われたように、地元企業とのマッチング、お互いのメリットを生かしながら発展していく仕組みがこれから必要となってくると考えています。行政、商工会と手を取り合って情報交換していく必要があると思います。地元企業を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>今おっしゃられたことは非常に大事だと思います。せっかく江田島市にお越しただいて、お互いにビジネス関係を結ぶチャンスがあるのに、よくわからないんでというのはもったいないと思います。コロナもありますが、出木谷委員がおっしゃるように、交流の場を開いたり、連携ができるような実際に会って話をしてコミュニケーションを図るとくのは大事だと思います。フウドでもそういった集まりなどを再開されていくのではないかと思いますので、江田島市内で意見交換していくことが改めて大事になっていくのではないかと思います。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>コロナが始まって、もともとフウドは移住交流拠点施設ということで、移住のサポートに加えて、交流するという機能も持っている中で、なかなか人を集めるという企画がしにくい状況にあるんですが、コロナの対策をしつつマッチングしていくかというのを試行錯誤していきたいと改めて思った次第です。</p> <p>移住の相談件数、空き家バンクの成約数が伸びているというお話がありましたが、その補足をさせていただくと、ここに記載の件数は、予約登録をして案内した件数なので、日々の件数としてはこの倍以上の電話問合せがあります。その要因として、ポータルサイトが整備されて VR で内覧ができるようになったということもありますが、それに加えてメディア露出というのがあると思います。あと、空き家の登録件数も今年大幅に増えており、この登録件数が増えた要因の一つは、今年度空き家の全戸調査を行ったことにより、空き家オーナーにバンク登録への意向アンケートを取った結果、登録が増えた。バンク物件を見ている人は日々見ているので、登録件数が増えると成約件数も増えるという好循環が一つの要因だと思います。来年度登録件数どうなるのかということもポイントで、毎年全戸調査をするのは現実的でないにせよ、何かしらの方法で登録件数を増やす努力を続けるべきかなと思っています。</p> <p>数値化はできませんが、一番大きな要因だと思うのが、移住者、もともと江田島市で御活躍されている人を含め、江田島市内でいきいきと暮らして、いきいきと働いている人が感覚として増えていると感じています。</p> <p>それがメディア露出にもつながっていて、それが人が人を呼んで、またその人が活躍することで、また江田島市の魅力が高まるという好循環がこの数年生まれている気がします。うまくこの好循環を今後も持続させていく工夫を皆さんと取り組んでいけたらと思っています。</p> <p>あと、先日 NHK - BS で放送された「いいいじゅー！！」が今度 NHK 総合で再放送されるようです。6月21日のお昼の12時20分からです。この効果もすごく大きいと思います。</p>

<p>議 長</p>	<p>イベントやフェアが再開できるようになったら、DVD にしておいて移住相談に来られた方に渡すということもできますね。本当にレベルの高いプロモーションビデオになると思います。</p> <p>商工会では創業支援ということで、空き店舗調査を4町で実施して、旧店舗のオーナーの方に店舗として貸していただけませんかという調査をしたのですが、なかなか誰かに貸すのはちょっと、とか2階に住んでるのでと言って、空き店舗として紹介いただける件数は少ないです。だから、空き家バンクに登録していただくのがいかに困難なことなのか本当によくわかります。登録件数を増やしていく取組を頑張っていていただきたいと思います。</p> <p>逆に質問させていただきたいのですが、今農業者、漁業者の研修制度はどのような状況ですか。</p>
<p>樋口委員</p>	<p>去年の10月から県の紹介で1名受け入れております。1年間研修するということとを本人が早く始めたいということで、半年で卒業して、この3月31日で修了します。昨日、県と市と県漁連と集まって、講師の先生方もこの方は十分やっています、私たちも早く一緒にやっていきたいということで本人もやる気になっています。この方は大崎上島の出身の方で、空き家バンクを利用して深江に住めないか検討中です。うちの若い漁師が積極的に講師になってあげるよ、と言ってくれるので受け入れができます。漁業者が少ないので、一人でも多く積極的に受け入れたいと思います。希望する方がいれば紹介していただければ、制度もありますし、研修を修了したら市からかなり手厚い支援もありますので、それを利用して一人前になってもらえたらと思います。</p>
<p>白桃委員</p>	<p>農業の方も同じように新規就農者育成支援制度というのが市の施策であり、毎年やっております。約10年くらい前からやっていますが、毎年1名くらいの就農者が出ています。県外、市外からの応募が多かったのですが、先月に来年度の就農者の面接を行いましたら、応募総数が7名と過去最高でした。今までは1名応募があるかどうかだったのですが、そのうち市外が3名、市内が4名で、就農の目安としては50代までですが、比較的若い30代が中心でした。予算上、花卉農家1名、キュウリ農家1名を市長に認定していただきました。</p> <p>異例の応募人数だったので、やっぱり目が向いているのかなと思います。農業で生活していくのは大変なので、生半可な気持ちで来られると困るんですが、キュウリをするのなら、切串、大須が中心となるので、そちらに定住をしてもらわないといけないので、そこが課題かなと思っています。</p> <p>私も面接を対応してもらいましたが、皆さん江田島市に来たいという意思が強いばかりでした。ただ、2名しか採用できないので残りの5名が何とか江田島市で働けるようにして定住できればと思いました。</p>
<p>藤井委員</p>	<p>社協では、無料職業紹介所という部署がありますので、ハローワークの情報に限らず、市内の求人情報、新聞・チラシの情報を丁寧に集めて、移住された方に仕事を紹介できるような形で取り組んでいます。今年度は2月末の時点ですが、80件紹介して、40件の就職が決まっています。それ以外にも12件チラシや店頭での求人で仕事を紹介しましたので、6割超えるくらいの紹介率となっています。</p>

	<p>す。皆様と情報共有させていただきながら、求人についてぜひ御相談いただけたらと思います。</p> <p>あと、うちの職場の 20 代、30 代職員が中心となって福祉の見える化プロジェクトというチームを作って、福祉の職種もすごく人手不足となっているので、youtube や SNS を活用して、福祉の仕事の魅力を伝えて、移住された方がそういった仕事に就きやすいように取り組んでいますので、またお知恵をいただければと思います。</p>
議長	<p>我々も人探しというところで苦慮しておりますので、そういう取組をしていただいているありがたいと思っています。また、近郊の日本製鉄産の閉鎖に伴い、そういった取組をしていただいていることに感謝しております。</p>
早稲田委員	<p>私は、2019 年に横浜から U ターンで帰ってきました、今は前職の設計の仕事を個人でやりながら、体験民宿 NORA、喫茶のらの経営と、高田の Ponte というフウドさんに近いようなコワーキングスペースやイベント開催の運営を行っています。私の方にも移住相談や広島に関連のある会社の方から、畑や仕事の紹介など依頼を受けています。その際、周りの知り合いに頼んでいたんですが、これを機に商工会や不動産関係の方に相談させていただければと思います。よろしくお願いします。</p>
議長	<p>時間に限りもございますので、また皆さんで共有できる課題等がございましたら、お知恵をいただければと思います。ぜひよろしくお願いします。</p> <p>今日は貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>事務局におかれましては、本日の各委員の皆様のお意見をできる限り反映し、より効果的な事業がなされるよう重ねてお願いします。</p> <p>本日の協議会会議は、これで閉会します。</p> <p>最後に事務局から連絡事項があれば、よろしくお願いします。</p>
5 閉 会	
事務局	<p>はい。</p> <p>先ほど空き家の掘り起こしについて御意見いただきましたが、今年度本来ならば自治会総会などにお邪魔して御説明したかったんですが、コロナで中止となってできませんでした。また、そういった場をいただけるのであれば、御説明に行きたいと思いますので、御相談させてください。</p> <p>各団体の皆様におかれまして、移住・定住関係で情報発信したいということがあれば、こちらで運営している移住・定住サイト「hodohodo」は、アクセス件数も結構あるので、そこを入口にして皆さんの PR したいところにリンクすることが可能です。そういった使い方をしていただけるとありがたいです。何かございましたらお声掛けいただければと思います。</p> <p>本日は御多用の中、協議会に御出席いただき、誠にありがとうございました。</p>